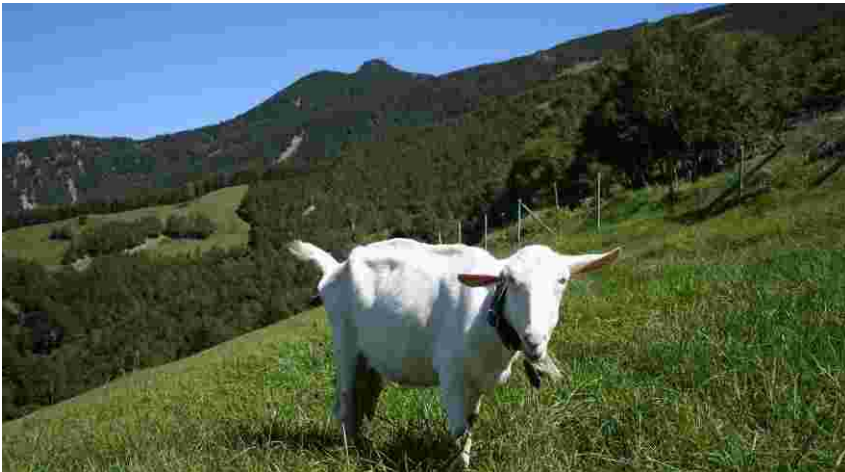




山羊の里 下伊那



下伊那は、山羊（やぎ）、うさぎ等の特用家畜の飼育が盛んな地域です。特に山羊は、昭和三十年代に農家の一頭飼い（一〜二頭を家畜として飼育）が盛んになり、ピークには飼養戸数七千戸、八千頭にものぼる山羊が飼育されていたそうです。

この地域に山羊が普及した理由は、乳の自給による農村の栄養補給とい

う目的に加え、小型家畜で大人しく、高齢化が進む農家でも飼育がしやすいこと、高地の乾燥地にも適応し、堅い野草や木の葉を好んで食べる山羊が、中山間地が多く広がるこの地に適していたことが上げられます。

現在、下伊那管内の山羊生産農家は約六〇戸、飼育頭数は約一〇〇頭と、かつてと比べて減少傾向にあるものの、今でも長野県内の四分の一を占めており、重要な地域産業のひとつとなっています。

また、平成十三年度には、第四回全国山羊サミット（ＪＡみなみ信州主催）が開催されるなど、全国的にも山羊の中心産地と位置づけられています。



子山羊市場

下伊那で開催される「子山羊市場」は、昭和二十四年の開設以来、本年で五十九回を数えます。かつては上郷（飯田市）の地がメッカとなっておりましたが、近年は豊かな自然の残る根羽村を会場に開催してきました。

下伊那で生産された子山羊は、市場

を通じて県内はもとより全国へ流通
しています。また、肥育用（食肉用）
の山羊は殆どが沖縄県へ出荷される
と共に一部地場消費も行われていま
す。

第59回下伊那子山羊共進会・子 山羊市場が開催される！

平成二十年七月一日、三尋石集畜場
（飯田市大瀬木）において、「子山羊
共進会・子山羊市場」（JAみなみ信
州主催）が開催されました。

山羊の生産振興を図ることを目的
とした共進会には、下伊那管内の生産
者が育てた子山羊二十五頭が出品さ
れ、骨格、毛並み、四肢の張り方など

を審査し、最高賞の長野県知事賞には、
飯田市で和牛、山羊、ウサギを飼育す
る家畜農家の関島和人さんの雄山羊
が選ばれました。

共進会終了後には子山羊市場が開
催され、六〇頭が手競りにかけられ、
県内外から集まった購買者約二十名
が競りを行い、最高額が十一万円（平
均価格四万五千円）で完売しました。

子山羊市場は、全国で四カ所（下伊
那のほかには群馬県、愛知県、福島県）
に限られており、中でも「日本ザーネ
ン種」の登録山羊（山羊の個体価値維
持のために行われている登録事業）
の市場に限れば全国で唯一の重要拠
点として、五十九回目を迎える歴史あ

長野県知事賞の関島和人さん（右）と
特別優秀賞の吉村修治さん（下條村、左）



るものです。

本年度の会場となった三尋石集畜
場は、地域の元気を生み出すモデル的
で発展性のある事業に県が助成する
「地域発 地域づくり支援金」を活用、

地域の皆さんが協働で整備しました。

また、当日は地元の伊賀良保育園の
年長園児約五十名が招かれ、山羊との
ふれ合い交流も開催されました。

今後この施設を拠点として、山羊や
うさぎ等の特用家畜の振興が図られ
ることが期待されます。



（文責 農政課生産振興係

小林茂樹）

